避難器具の概要表

				防火丸	対象物の概						
名称					所在地						
用途					階数(階層)		地上	皆 地下	階 塔原	屋 階	
主要構造部		耐火構造 ・ 準耐火構造 ・ そ			の他()		延べる直積			m²	
				避難	器具の概要	į		<u> </u>	ļ		
<u></u> 階別	床面積	用途 収容人		無窓該当	階段の数	減免	女 設置数 避		 難器具の種別(個数)		
			貝		<u></u> 数			は)•緩()
								は)•緩()
								は)•緩()
								は)•緩()
								は)•緩()
								は)•緩()
								は)•緩()
								は)•緩()
								は)•緩()
 避難器具の種別				1						<i>y</i>	,
型式番号		 第 ~ 号		第 ~	第 ~ 号		 第 ~ 号		第~	 · 号	
設置場所の状況 (用途、構造等)										<u> </u>	
開口部の大きさ 縦×横 (cm)		×			×		×		×		
腰高(cm)											
操作面積(㎡)											
固定位置											
固定方法											
固定部材にかかる											
設計荷重(N) 固定部材の許容											
応力 (N))									
そ の 他											

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 避難器具の種別(個数)欄は、「は」は金属製はしご、「袋」は救助袋「緩」は緩降機を表し、避難器具の 種別の後の()内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。